



英米文学

※【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

1. 英米文学とは

英米文学とは、英語圏の文学を対象とした学問。主にイギリス文学とアメリカ文学からなる。

■イギリス文学	■アメリカ文学
<p>広義では英語で書かれた文学作品すべての総称であるが、主としてイングランドで書かれたものをさす。『ベーオウルフ』や『アングロ・サクソン年代記』を生んだ古期英語時代（1150以前）、G・チョーサーに開花した中期英語時代（1100～1500）、16世紀以後現代にいたる近代英語時代に大別できる。近代文学はさらに、ルネサンス、ジェームズ1世時代、王政復古期、18世紀、ビクトリア時代、現代に分類される。各時代ともあらゆるジャンルの多種多様な作品がみられ、特に詩が中心であるが、一般に堅実で経験主義的なイギリス精神の真髄を示している。</p>	<p>アメリカ合衆国において英語で書かれた文学作品の総称。17世紀初頭イギリス人による植民地開拓から始まるアメリカ文学の特殊性は、国家形成の歴史と広大な国土による風土の多様性、複雑な人種構成を抜きにしては考えられない。本国に対する拒否と憧憬という矛盾した感情のなかで、本国文学への従属感をぬぐいきれないまま、同時にアメリカ独自の文学を創造しようとする国民意識が高まり、やがて世界文学史上特異な位置を占めるにいたるのがアメリカ文学である。神話や叙事詩の時代を経ずに、宗教書、日記など実用的な散文から始まったこの国の文学は、長く創造文学を生み出さなかったが、アメリカ独立戦争後の文化的自立と西部発展の機運のなかから、アメリカ固有の特徴的な国民性と制度が育つに従って、社会、経済、地理、芸術面における特質を反映した文学が育っていった。テーマの中には広大な国土、多様な人々、フロンティア精神を背景に生まれたものもある。</p>

（「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」より引用）

2. 分類（NDC9版）

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野	分類番号	分野
930	英米文学	935	日記・書簡・紀行
931	詩	936	記録・手記・ルポルタージュ
932	戯曲	937	箴言・アフォリズム・寸言
933	小説・物語	938	作品集：全集・選集
934	評論・エッセイ・随筆		

3. 辞典・事典

『The Oxford English dictionary』 【833/O-93/1~20 品川 2F 参考図書】（英文）

Simpson, J. A. & Weiner, E. S. C., Oxford University Press, 1989

英英辞典。英単語の意味を詳しく調べるには必須である。各単語の初出年が記載されているため、いつ頃から使われた単語・意味なのかを調べることができる。

『オックスフォード 英語ことわざ・名言辞典』 【833.4/Sp 3 品川 2F 参考図書】

ジェニファー・スピーク編；赤羽美鳥，杉山正二訳，柊風舎，2017

過去200年にわたり英国で使用されたことわざを編纂した事典。近年に誕生したものも記載されている。



ばすふあいんだー

Pathfinder【調べ案内】

このパスファインダーは、
レファレンスデスクの
りぶたまが作成しました。

『英米小説原題邦題事典』 【930/N 71 品川 2F 参考図書】

日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ, 2003

1945～2002年に翻訳刊行された英語圏作家6,683人の小説、戯曲をまとめた文献目録。原題・翻訳・映画のタイトルなど48,167点が収録されている。2003～2013年に刊行された作品を加えた追補版も併せて配架されているので、近年の作品を確認できる。

『イギリスの教会事典』 【930.3/Mi58 品川 2F 参考図書】

三谷康之著, 日外アソシエーツ, 2017

英文学の背景的知識として「教会」を建築・歴史・文化の観点から解説している用語集。写真はもちろん、文学作品の引用も併せて記載してあるので、英文化のイメージがよりしやすくなる。

4. 入門書

『イギリス文学入門』 【930.2/I-84 品川 B1 図書】

石塚久郎責任編集, 三修社, 2014

120人の作家をリストアップし、作品が執筆された時代の歴史的背景を明らかにしながら解説をしている。文学史のアウトラインも掲載されており、細かく節分けされていて読みやすい。

『アメリカ文学入門』 【930.29/Su87 品川 2F 学修支援(英米)/品川 B1 図書】

諏訪部浩一責任編集, 三修社, 2013

アメリカ史を踏まえながらその時代の文学について解説している。巻末資料として「レポート・卒論を書く」が収められており、レポートを書く上での注意点を学ぶこともできる。

5. 雑誌

『英文学論考』 【R-1/19 品川 B3 紀要(新刊は3F立正大学紀要コーナー)】

立正大学英文学會

立正大学英文学会の機関誌。英米文学・英語学・英語圏文化・英語教育に関する研究論文等を掲載している。

『サイコアナリティカル英文学論叢』 【930.5/2 品川 B3 雑誌】

サイコアナリティカル英文学会

精神分析学的研究の視点から英文学を研究した成果を掲載したサイコアナリティカル英文学会の機関誌。学会HP(<http://psell.sakura.ne.jp/top.html>)

6. インターネット (学会サイト等)

『日本英文学会』 <http://www.elsj.org/>

日本においてイギリス文学、アメリカ文学、英語圏の文学、英語学、英語教育を研究する人々の交流を目的として設立された団体。機関誌『英文学研究』の発行と全国大会・支部大会の開催を主たる活動としつつ、そのほかにもさまざまな情報を発信している。

『新英米文学会』 <http://shineibei.org/>

既成の権威やトレンドに追従することなく、鋭い分析力と見識などを英語の文献から学びあうことを目的に設立された学会。学会誌『New Perspective』(年2回)と会報『Neal News』(年4回)発行している。

『JAELL 日本英語英文学会』 <http://www.jaell.org/>

英語学、英語教育学、イギリス文学、アメリカ文学、および英語圏の言語・コミュニケーション・文学・文化の研究を行うことを目的としている。学会誌『日本英語英文学』を発行。